

麻布大学ティーチング・ポートフォリオ

所属 獣医保健看護学科

職階 准教授

氏名 今井彩子

麻布大学では、教育研究活動その他大学の諸活動を恒常的に自己点検・評価し、その結果を検証して改善に結び付けることにより、教育の質保証を行う観点から、各教員が『ティーチング・ポートフォリオ』を作成しています。ティーチング・ポートフォリオの構成及び更新サイクルは以下のとおりです。

1. 教育の責任・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3年
2. 教育の理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3年
3. 教育の方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3年
4. 教育の方法の改善・向上を図る取組・・・・・・・・ 毎年
5. 学生の授業評価アンケート結果に基づく改善・向上の取組・・・ 毎年
6. 学生の学修成果向上を図る取組・・・・・・・・ 毎年
7. 指導力向上のための取組・・・・・・・・・・・・ 3年
8. 今後の目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3年

1. 教育の責任

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年4月

全世界的に人間と動物の共生が課題となっている現在、医療面を含めた人間と動物の幸せに貢献できる人材のニーズが高まっている。そのために獣医保健看護学科の教員として、獣医学の知識を持ち、それを活かして社会参加・貢献できる人材の育成を行うことが責務であると考えている。

科目名	学科・専攻	単位種別	配当年次	受講者数(単位:人)
キャリアデザイン基礎	獣医保健看護学科	必修	1	79
動物看護学概論	獣医保健看護学科	必修	1	79
動物形態機能学・臨床検査学実習I	獣医保健看護学科	必修	1	79
動物形態機能学・臨床検査学実習II	獣医保健看護学科	必修	2	74
動物臨床検査学	獣医保健看護学科	必修	2	74
動物内科看護学I	獣医保健看護学科	必修	2	74
動物外科看護学I	獣医保健看護学科	必修	2	74
動物内科看護学II	獣医保健看護学科	必修	2	74
ジェネラリスト育成プログラム		自由		9

2. 教育の理念

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年4月

獣医学の知識を持ち、それを活かして人と動物の共生のために社会参加・貢献できるプロフェッショナルな人材はまず、(1) 人として自立し自らの行動に責任を持つことができなければならない。そして、(2) 受けた教育を社会に対して単に伝えるのではなく、具体的な形で示し、説明できることが大切であると考えている。したがって、学生に対しては自立した人間としての立場を尊重して接することを心がけると共に、授業に関しては、現象や事実を伝えるだけではなく、「なぜそうなるのか?」、「なぜそうしなければならないのか?」などの「なぜ?」を紐解くことを大切に、学生が教えられたことを鵜呑みにするのではなく、根本から考えて理解できるような教育活動を行う。そのような取り組みにより、学生が社会に出る第一歩である愛玩動物看護師国家試験合格を目指す。

3. 教育の方法

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年4月

(1) 学生の自立という点においては、日々の対人マナー（約束や時間を守るなど）はもちろんのこと、1年次動物看護学概論中に行われる大学外部の方とのメール交換の指導を通して対人及びビジネスマナーを指導する。また、将来愛玩動物看護師として動物病院での就職を目指す者たちにとっては、特に病院内外での対人コミュニケーションが重要であるため、担当科目中の業務（例えば、内科で血圧測定など）を行う上で発生する対人及び対動物とのコミュニケーションについてもその都度言及し、コミュニケーションの大切さの理解を図る。また、獣医学を学んだ人材の社会参加へのニーズが高いことを実感し、早期に自立したライフプランの設計を促すために、1年次より大学主催の企業説明会などへの参加を図るとともに、担当科目においてもできるだけ多様な職業での応用に言及する。

(2) 愛玩動物看護師国家試験だけを考えれば暗記科目が多いことからその内容の習得にはドリル的な反復が効果的ではあると思うが、実際に社会参加して学んできた内容を活かして社会に貢献するにはその暗記項目がなぜ試験問題として出されるほど重要なものであるかを理解する必要があると思われる。その理解を促すためには、理論から実践へ、もしくは基礎から臨床へのつながりを教えることが重要である。そのために授業では暗記すべき項目（国試対策）に紐付ける形で理論等を配置して教えていく。臨床教科項目は特に現場との関連がイメージしづらいものも多いので、できるだけ写真や動画を使用した教材を用いて授業を行う。また実習では、動物を使用することが難しい場面も多いが、シュミレーターの使用や自身の経験（例えば聴診器で自身の心拍数を測るなど）を通して、理論を実践として理解できるように指導する。

(1) アクティブ・ラーニングについての取組

有

動物看護学概論では、愛玩動物看護師有資格者へのインタビューをグループに分かれてポスターにまとめて発表するグループワーク・ディスカッションを行なった。また、動物外科看護学Iでは、学生に共通で考えるべき課題（問題）を提示し、それぞれがGoogleフォームを使用してそれに答え、回答をまとめて学生に再度提示する双方向PBLを行なった。

(2) ICTの教育活用

有

動物外科看護学Iで行なった双方向PBLではGoogleフォームを使用して回答をオンラインで回収・集計し、その結果をリアルタイムに学生に提示した。そうすることにより、他者との意見共有が即時に可能となり、ただ個人的に回答させるだけでは得られない、問題へのより深い理解を促すとともに、多角的・多面的な思考の成長を促した。

4. 教育の方法の改善・向上を図る取組

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2026年4月

(1) 教育（授業及び実習等）の創意工夫

A

臨床系の授業（動物内科看護学、動物外科看護学）では、当日の授業内容から実際の国家試験問題がどれくらい出題されているかを具体的に示して低学年（2年生）から国家試験を想定した勉強を意識させている。国家試験は選択問題であるため、小テストは選択問題を基本としているが、授業内容の理解・定着を促すために、時に記述問題に変更している。

(2) 学生の理解度の把握

A

学生がどれくらい授業内容を理解しているかに関しては、定期テストの回答率の他に、Azamoodleでの小テスト（1週間ほど繰り返し受験可能）の正答率と解答をやめるまで（すなわち正解に行き着くまで）の受験回数で把握している。しかしながら、1人1人の学生の弱点などは見えてこないため、時々手書きのレポートを課して、思考の道のりもチェックするようにしている。

(3) 学生の自学自習を促す工夫

A

低学年（2年生）より国家試験と同等の模擬試験を実施している。授業において国家試験への意識を高めるとともに、模擬試験があることにより、定期試験とは別の勉強への取り組みを促している。

(4) 学生とのコミュニケーション

A

学生からの質問があった場合は、対面・メールで対応した。それとは別に、成績の良くなかった学生には個別でメールを送り、質問・勉強の機会をつくった。勉強内容に関しての相談には、チューターを紹介するなどして、大学側のサポートを利用した勉強方法もあることを提示して対応した。

(5) 双方向授業への工夫

A

動物外科看護学Iでは双方向PBL（プロブレム・ベースド・ラーニング）を行なった。当該授業内容における問題を学生に提示し、Googleフォームを使用して回答をオンラインで回収・集計を行った。その結果は授業内でリアルタイムに学生に提示し、他者との意見共有を図るとともに問題に対する多角的・多面的な考え方の成長を促した。

(6) 国家試験対策の取組（獣医学科・臨床検査技術学科）

該当なし

5. 学生の授業評価アンケート結果に基づく改善・向上の取組

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2026年4月

(1) 授業評価アンケート結果の授業への反映

担当科目が全てオムニバスの授業形式であるため、個人の授業に対する評価は得られていないが、授業内外で耳にする学生の意見は取り入れて授業に反映させている。

(2) (1)の結果による改善・向上の具体的な成果又は課題

個人の授業評価が得られないため課題が見えづらいが、成果は成績に反映されると考えている。

(3) (2)を踏まえた次年度の取組

成績から見えてきた弱点を克服できるような授業内容を工夫して取り組んでいく。授業に対する学生からの意見があった場合は、積極的な検討を行う。

6. 学生の学修成果向上を図る取組

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2026年4月

(1) 現在までの学生の成績向上に資する取組及びその成果並びに今後予定している取組

どの科目においても、基礎的な原理が臨床応用につながっていることを意識できるような授業づくりをしている。そうすることで、暗記だけではなく「考える」習慣が身につく、最終的には国試問題に対しても柔軟な対応が可能となると考えられる。

(2) (1)の取組を通じて改善・向上が図られた学生の学修成果並びに当該取組に対して得られた学生及び第三者からの評価又はフィードバック

学習成果に関しては定期試験のみならず、国家試験模擬テストで評価され则认为。また、第三者からの評価は実際の国家試験合格率に反映され则认为。

7. 指導力向上のための取組（FD研修参加等）

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年4月

参加している。

8. 今後の目標

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年4月

短期目標：進級率100%

長期目標：愛玩動物看護師国家試験100%合格及び就職内定率100%

9. ティーチング・ポートフォリオを作成する際に活用した根拠資料

対象期間：2024年4月～2027年3月

更新年月：2025年4月

シラバス、教材、レポート課題、ジェネプロHP、学生とのメール添削データ、学生ポスター、ジェネプロ課題ディスカッションデータ